

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	めざせ防災力向上！ 【事業費予算900千円】
事業目的・概要	地域の防災活動への若い世代からの理解不足が、各地域の課題のひとつである。誰もが、防災について触れて、体験して、遊びながら楽しめる事業を通じて、今まで関心の薄かった世代に対し、啓発を行い、地域とつながるきっかけとなることを狙う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【みんなであそんでまなぼうさい!! in 濁川】※濁川地区コミュニティ協議会と共催 日時:令和4年10月16日(日)午前10時～午後3時 場所:濁川小学校(北区濁川284番地) 内容:ジャッキアップゲーム、AED・応急手当体験、オリジナル防災グッズづくり、水消火器・煙体験、パッククッキング紹介、消防車展示 参加者:122人(大人68人、こども54人)</p> <p>【みんなであそんでまなぼうさい!! in 木崎】※木崎小学校PTA体育部と共催 日時:令和4年11月20日(日)午前10時～正午 場所:木崎小学校(北区木崎2973番地) 内容:ジャッキアップゲーム、応急手当体験、オリジナル防災グッズづくり、水消火器・煙体験、パッククッキング紹介、地震体験車、消防車展示 参加者:168人(大人63人、こども105人)</p> <p>【キテ・ミテ・キタ区役所に防災ブース出展】 日時:令和4年10月1日(土)午前10時～午後4時 場所:北区役所(北区東栄町1丁目1番14号) 内容:水消火器、ハザードマップ紹介、浸水AR(NHK協力) 参加者:推計800人</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○昨年度自治協議会が主体として行った事業を地域に発信することで、今年度は希望のあった地域団体と連携して共催形式で実施でき、発展性のある事業展開であった。</p> <p>○共催した地域団体及び参加者からアンケートに協力してもらうことで、当事業の効果や今後地域主体で根付いていくための課題などを発見し、深めるための意見が収集できた。</p> <p>○事業実施にあたり、地元中学校のボランティアや北区防災士の会、食生活改善推進委員協議会北支部など各種団体と協力することで、地域全体で顔の見える関係づくりの一助を担った。</p> <p>○アンケートを実施した結果、概ね好評であり、事業目的に沿った効果があった。 ・「めざせ防災力向上」の切り口としては良かった。2回目以降、継続する事が大事。 ・子どもだけでなく、親世代の大人も防災に関して改めて認識できる良い機会になるのではないと思う。 ・防災のことを学べたり、地域の人と交流することができたので良かったです。</p> <p>○地域の多様な団体との連携という点では、防災啓発のみならず市民協働や地域活性化の役割も果たした。</p> <p>○事業報告書を作成し、地域団体等に配布及び提案することで、当事業が区内各地域に根付き、幅広い世代への新しい防災啓発のかたちとなることを狙う。</p>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	「応援します、あなたの一歩」講座 【事業費予算 600千円】
事業目的・概要	【目的】 定年退職後の人や地域活動に興味はあってもなかなか一歩を踏み出せない人が、活動をはじめられるように後押しする事業を行う。 【概要】 定年退職前後の方、または興味のある方を対象に、一歩を踏み出す後押しをするため、ボランティアについての講話、ボランティア体験、活動場所紹介等の内容で講座を実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	募集チラシを作成し区内コミュニティセンター、公共機関等に設置、北区日より9月4日号掲載。北区社会福祉協議会との共催とし、社会福祉協議会の情報紙「キラッキタッ」9月1日号に掲載、社会福祉協議会関係者(ボランティア登録者等)にチラシ配付。 2名参加。 10月5日 説明会 豊栄地区公民館 10月12日 体験会 早通児童センター 10月14日 体験会 早通児童センター 10月26日 振り返り 豊栄地区公民館
事業の評価  (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など)	参加人数は少なかったが、これまで経験したことのなかった子どもに関わるボランティア体験などを行い、自治協議会委員も含めてボランティアや地域活動などを身近にとらえるきっかけになった。また、講座の企画、準備、講座の運営を自治協議会委員で分担して行い、事業企画運営の研修にもつながった。 課題としては、一歩踏み出せずにいる方にとって、講座に参加すること自体ハードルが高いので、対象の方にどう伝え、一歩踏み出すきっかけづくりができるのか検討する必要がある。全3回参加、ワクチン接種3回以上など、参加要件のハードルが高かったことについても、次回同様のことを行う際は慎重に検討する必要がある。 【いただいたご意見など】 ○ボランティアを身近に考えるようになった。 ○自分ができることを無理なく行動したい。 ○普段関わりの少ない経験をすることができた。
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	「行ってみよう大学！あなたのための健康」講座 【事業費予算 600千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 地域活動等に一步踏み出すために、健康寿命の延伸を目的として健康講座を開催する。自分の体の状態を知り、健康でいるための運動などを知ること、気持ちも前向きになり、意欲的な活動につなげる。</p> <p>また、大学生と関わることで、世代を超えた交流を体験し、新たな世界に踏み出す楽しさを実感する。</p> <p>【概要】 新潟医療福祉大学を会場に、自分の筋力、バランス等の測定を体験し、自分の身体機能を確認したうえで筋力・バランスアップ運動や、腰痛予防法などを学生と一緒に学ぶ。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>募集チラシを作成し区内コミュニティセンター、公共機関等に設置、各コミュニティ協議会のコミだより2月号に掲載。</p> <p>日時：令和5年3月11日(土)午前10時～正午</p> <p>会場：新潟医療福祉大学 GA棟203講座室</p> <p>講師：新潟医療福祉大学 教授 佐藤 成登志 氏 ※学生12名 測定等補助</p> <p>内容：身体機能の測定と、それに合わせた筋力・バランスアップ運動、腰痛予防法などを学生と一緒に学ぶ。</p> <p>応募時定員30名 当日参加28名</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など)	<p>今回の講座は、コミュニティ協議会だより2月号に掲載したとたんに応募が多数あり、あっという間に定員となった。その後も参加希望者から連絡がありお断りするほどだった。</p> <p>当日は、28名の参加となったが、皆さん熱心に体力測定や佐藤先生の講義に耳を傾けていた。健康寿命を延ばすためのちょっとした時間でできる筋力強化運動や転倒予防体操など、佐藤先生のわかりやすい解説を聞きながら実践した。</p> <p>健康に関する講座は、みなさん非常に興味があるということがわかった。また広報に関しては、比較的高齢の方にはコミュニティだよりに掲載すると周知されやすいこともわかった。次回の参考にしたい。また、健康に関する内容と、その他お伝えしたい内容を抱き合わせにするなど、工夫を凝らし事業内容を検討していくことも有効のように感じた。</p> <p>【いただいたご意見など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○またこのような講座に参加したい。</li> <li>○自分の体や体力が理解できた。</li> <li>○適度な運動の大切さを学んだ。</li> <li>○わかりやすい説明と、筋肉のこと、日頃できる運動など知ることができとてもよかった。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	北区 魅力発信継承事業 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	北区の豊かな自然や文化を残していくためには、それらの魅力を理解し継承していく人材が必要である。それらの魅力を区内外へ広く発信することで愛着の醸成を図り、次世代の人材育成につなげる。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>① トークセッション遠藤麻理さんと語る福島潟の楽しみ潟 (かた)  日時 令和4年11月5日(土)午後2時～3時30分  会場 水の駅 ビュー福島潟6階展望ホール  参加者数 98人(来場者78人、出演者6人、スタッフ14人)  出演者 遠藤麻理さん(フリーアナウンサー)、大倉雄二さん(割烹大倉屋社長)、赤井麻奈美さん(ビュー福島潟レンジャー)、曾部珠代さん(市学芸員)、豊栄高校 2人(R2～3提案事業福島潟PR動画作成関係者)  アンケート結果(回答数73枚)  大変よかった 54人、よかった 17人、普通 1人</p> <p>感想  ・北区の今まで知らなかった魅力をたくさん知ることができた。  ・すぐ近くに住んでいたが、初めて知る事が多く楽しかった。</p> <p>② 北区まるごとゼーンブ撮って! フォトコンテスト  【募集テーマ】  自分の大好きな北区の場所やものを紹介する写真(景色、食べ物、祭り、地域行事、産業など)  【応募方法】  インスタグラムで「#新潟市北区2022」「#キタク大好き」の2つのハッシュタグと、  被写体のタイトルと撮影場所、説明を添えて、写真を投稿  【募集期間】9月4日～11月20日  【賞の選定】  委員の投票により優秀賞3点、入選10点を選定し市のHPや区役所だよりで紹介。  【応募作品の活用】  ・応募作品で令和5年度カレンダーを作成し、区内公共施設等に配布した。  ・2月下旬～3月上旬に、北区役所1階交流スペースで入賞作品展を開催した。  ・応募写真は区の魅力PRに広く活用予定。</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の 評価など)	<p>① トークセッション遠藤麻理さんと語る福島潟の楽しみ潟 (かた)  遠藤麻理さん効果で区外から初めて来てくれた人も多く、また、参加者が遠藤さんのラジオ番組に投稿してくれたことでPRにつながった。  レンジャーから、春の菜の花だけでなく冬の福島潟の魅力も紹介してもらったことで、通年を通して訪れる人も増えるのではないかとと思われる。</p> <p>② 北区まるごとゼーンぶ撮って! フォトコンテスト  21名・123件の投稿があった。インスタグラムを活用したことで、受賞作品以外の投稿についても幅広い人の目に触れることとなり、北区の魅力を広く発信することにつながった。  カレンダーを作成し配布することにより、SNSを利用しない世代にも、北区の身近な魅力を紹介することができた。</p>
備考	